

I・J 学級通信

IJ 学級 学級通信 No. 14
令和 7 年 12 月 25 日 (木)

年の瀬を迎えて

今年も残すところあとわずかになりました。12月は、師走。師走の由来は、諸説あるそうですが、師（僧侶）が走るという説が有力なようです。お坊さんは、年末に各家庭に呼ばれてお経を唱えるという習慣が、古くから日本にはありました。毎日忙しく走りまわっているお坊さんの姿から、師走という言葉が出来たようです。

2学期は、職場訪問から始まり、合唱祭、千葉への移動教室、マラソン大会があり、また3年生は、各生徒の進路選択・決定が始まり、都立特別支援学校の就業技術科・職能開発科の適性検査を受けたり各進路希望先の入学相談及び面接を受けたりと具体的な進路の活動が行われました。忙しくも充実した日々を送ってきたのではないかと感じています。

さて2学期の生徒の様子を具体的に振り返ってみますと、行事が終わるたびに、生徒一人一人が自分の課題に気づき、克服するために努力しようとしている生徒が多く見られるようになったと感じています。特に、3年生の生徒の中で、2学期に各進路先の入学相談や適性検査があった生徒は、校長先生、副校長先生をはじめ、IJ学級の先生方と、繰り返し面接練習を繰り返し行ってきました。最初は、志望動機などを聞かれ、うまく答えられなかった生徒も、反復して行った練習の成果が実り、それぞれの面接日の前には、落ち着いた態度で面接ができるようになりました。

このような生徒たちを見ていて、ドイツの文豪ゲーテの言葉を思い出しました。ゲーテは著書「ファウスト」の中で、「人間は、努力をする限り迷うものだ」といっています。たしかにそのとおりです。努力をしないで怠けているものには迷いはありません。迷っている者は、それだけ自分が努力しているからだ、迷っていることをむしろ誇りと考えていいのではないのでしょうか。

I・J学級の生徒も、大なり小なり迷った1年だったのではないかと感じています。ゲーテの言葉を借りれば、それだけ生徒が努力したことになります。日々の生活の中、家庭や学校で、親や教師の見えないところで、生徒は努力していたのだと強く感じています。

長い2学期をつつがなく学校生活を送ることができましたのも、様々な面で保護者の方からのご支援のおかげだと感謝しています。保護者の皆様、どうぞ良い年をお迎えください。3学期もよろしく願います。



3学期始業式

登校日 令和8年 1月 8日(木) 8時30分

服装 正装（Yシャツ、ネクタイ、ブレザー）

持ち物 通知表 冬休みのしおり 筆記用具 各教科の宿題 タブレット 充電器

冬休み中も生活リズムが崩れないよう、早寝・早起きに気を付けましょう。

冬休みの宿題（年賀状・寒中見舞い）のおしらせ

- ・「手紙の書き方」を参考にして年賀状(喪中の場合は寒中見舞い)を書いてください。
- ・宛先は担任(連絡帳担当)です。
- ・宛先住所は学校でお願いします。
学校住所 〒202-0001 東京都西東京市ひばりが丘3-2-42
- ・冬休み中にポストに投函してください。

